

2008年1月31日
三菱電機株式会社
株式会社ルネサス テクノロジ

三菱電機によるルネサス テクノロジ熊本工場の取得について

三菱電機株式会社(執行役社長:下村節宏、以下三菱電機)と株式会社ルネサス テクノロジ(会長 & CEO:伊藤達、以下ルネサス)は、このたび、ルネサスが所有する同社熊本工場の建物及び付帯する生産設備等を、三菱電機が取得することで基本合意に至りました。

三菱電機は、2003年4月にシステムLSI事業・システムメモリ事業を株式会社日立製作所と共同で設立したルネサスに移管しました。現在は、社内シナジー効果の高いパワー半導体と高周波光デバイスに特化して半導体事業を展開しております。

パワー半導体が使用される産業機器・家電品等のインバーター制御機器市場は、世界的な省エネ・環境保護意識の高まりから着実に拡大しており、更なる成長が期待されております。

三菱電機は、パワー半導体用ウエハーを同社のパワーデバイス製作所熊本工場生産しており、市場拡大に伴う需要増加に応え、且つ、継続的な事業拡大を実現するためにはウエハー生産能力の増強が緊急の課題となっておりました。

三菱電機は従来からパワー半導体の需要増加に応じるため、熊本工場内にある既存の6インチウエハーの生産能力拡大に努めてきましたが、一層の生産能力拡大にあたっては、ウエハー口径の大きな8インチウエハーによる生産が必要と判断し、能力拡大施策を検討して参りました。

一方、ルネサスは、マイコン事業、システムソリューション事業、汎用製品事業の3つの事業を成長のための3本柱と位置づけ、経営資源を集中させてきました。事業の選択と集中を進める中で、2005年12月にフラッシュメモリ事業の終息を決断し、開発リソースの最適化を進めています。

こうした中、フラッシュメモリを中心に生産していたルネサス熊本工場では、フラッシュメモリに代わる生産負荷の確保、及び将来の有効活用が課題になっておりました。

ルネサス熊本工場は、ルネサス設立時に三菱電機から移管されたため、三菱電機パワーデバイス製作所熊本工場と同一の敷地内にあります。また、ルネサス熊本工場では現在、既に8インチウエハーによる三菱電機向けパワー半導体製品の受託生産を行っています。このような状況下、三菱電機は、地理的利便性、技術的親和性、経済合理性の観点で、ルネサス熊本工場の取得が最も望ましいと判断しました。また、ルネサスとしても、同工場の資産を有効に活用するべく、三菱電機に熊本工場を譲渡することで、ルネサス全体の生産効率の向上も図ることができると判断しました。

今後、両社は譲渡に関する諸条件につき具体的な協議を行い、三菱電機は2008年4月1日付でルネサス熊本工場を取得する予定です。

報道関係からのお問い合わせ先

<三菱電機>

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 電話03-3218-2829 FAX03-3218-2431
三菱電機株式会社 広報部【担当:平野】

<ルネサス テクノロジ>

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル 電話 03-6756-5555 FAX03-5201-5109
株式会社ルネサス テクノロジ CSR 統括部 広報・宣伝部【担当:小林、大野、上原】